

平成28年度 所定疾患施設療養費算定状況

平成24年4月の介護報酬改定により、介護老人保健施設において、入所者の医療ニーズに適切に対応する観点から、所定の疾患を発症した場合における施設での医療について、以下の要件を満たした場合に評価されることになりました。

厚生労働省大臣が定める基準に基づき、所定疾患施設療養費の算定状況を公表いたします。

【算定要件】

1. 所定疾患施設療養費は、肺炎等により治療を必要とする状態となった入所者に対し、治療管理として投薬、検査、注射、処置等が行われた場合に、1回に連続する7日を限度とし、月1回に限り算定するものであるので、1月に連続しない1日を7回算定することはみとめられないものであること。
 2. 所定疾患施設療養費と緊急時施設療養費は同時に算定することはできないこと。
 3. 所定疾患施設療養費の対象となる入所者の状態は次のとおりであること。

1 肺炎

口 尿路感染症

ハ 帯状疱疹(抗ウイルス剤の点滴注射を必要とする場合に限る)

4. 算定する場合にあっては、診断名、診断を行った日、実施した投薬、検査、注射、処置の内容等を診療録に記載しておくこと。
 5. 請求に際して、診断、行った検査、治療内容等を記載すること。
 6. 当該加算の算定開始後は、治療の実施状況について公表することとする。公表に当たっては、介護サービス情報の公表制度を活用する等により、前年度の当該加算の算定状況を報告すること。

主な検査・治療内容

肺炎	検査内容	胸部X線写真、胸部CT、血液検査
	治療内容	投薬:シプロフロキサシン(200)、セフジニル(100)、レボフロキサシン(500)、フロモックス(100) 点滴:ビクシリン1g、フルマリン1g、スルバシリン1V、ソルラクト250ml、ミノサイクリン1V
尿路感染症	検査内容	尿検査、血液検査
	治療内容	投薬:シプロフロキサシン(200)、セフジニル(100)、レボフロキサシン(500)、ミノサイクリン(100) 点滴:スルバシリン1V、セフトリアキソン2V